

【参考】
県別の農業産出額

令和4（2022）年 各県上位5品目の農業産出額

単位：億円

県名 産出額	各 県 の 上 位 5 品 目					農業産出額 全国順位
	1位	2位	3位	4位	5位	
福岡 2,021 県計に占める割合	 米 328 16%	 いちご 242 12%	 鶏 卵 111 6%	 ぶどう 100 5%	 肉用牛 83 4%	R4年：16位 H24年：14位 H14年：17位
佐賀 1,307 県計に占める割合	 米 229 18%	 肉用牛 182 14%	 たまねぎ 172 13%	 みかん 123 9%	 ブロイラー 96 7%	R4年：24位 H24年：25位 H14年：24位
長崎 1,504 県計に占める割合	 肉用牛 275 18%	 豚 136 9%	 いちご 127 8%	 ばれいしょ 103 7%	 みかん 95 6%	R4年：23位 H24年：22位 H14年：26位
熊本 3,512 県計に占める割合	 肉用牛 452 13%	 トマト 376 11%	 生 乳 299 9%	 米 277 8%	 豚 265 8%	R4年：5位 H24年：5位 H14年：6位
大分 1,245 県計に占める割合	 米 172 14%	 肉用牛 153 12%	 豚 108 9%	 生 乳 81 7%	 ね ぎ 81 7%	R4年：26位 H24年：24位 H14年：22位
宮崎 3,505 県計に占める割合	 肉用牛 826 24%	 ブロイラー 762 22%	 豚 520 15%	 きゅうり 163 5%	 米 142 4%	R4年：6位 H24年：7位 H14年：8位
鹿児島 5,114 県計に占める割合	 肉用牛 1,228 24%	 豚 909 18%	 ブロイラー 889 17%	 鶏 卵 316 6%	 米 169 3%	R4年：2位 H24年：4位 H14年：4位
九州 18,208 九州計に占める割合	 肉用牛 3,199 18%	 豚 2,042 11%	 ブロイラー 2,022 11%	 米 1,408 8%	 鶏 卵 750 4%	

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

福岡県

【近年は肉用牛、いちごが増加】

福岡県は平野部において米、麦、大豆などの土地利用型農業が展開されているほか、いちごの生産が盛んです。

20年前と比較すると、肉用牛やいちごなどが増加している一方、小麦や大豆などは減少しています。

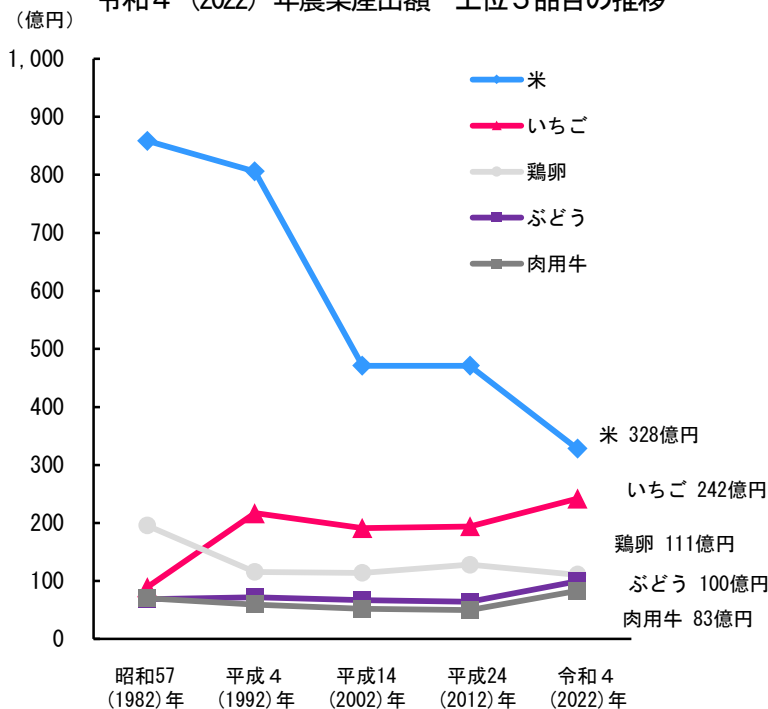
また、部門別にみると、野菜が3割以上を占めており、農業産出額の全国順位では庭園樹苗木やキウイフルーツなどが上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は2,021億円で、前年に比べ2.7%増加しました。これは主にいちご、ぶどう及び花き（切り花）の価格が上昇したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

庭園樹苗木（1位） いちご（2位） 小麦（2位） キウイフルーツ（2位） 洋ラン（鉢）（2位）

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目

増加した品目

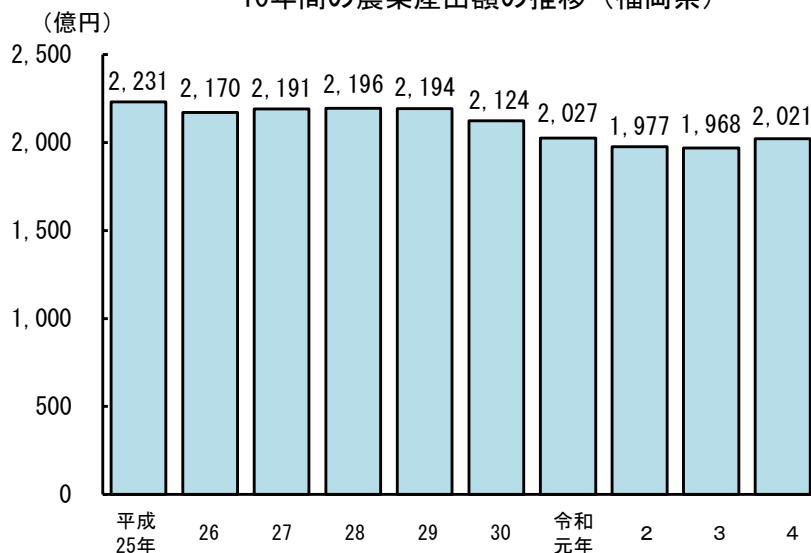
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
いちご	191	242	51	26.7
ぶどう	67	100	33	49.3
肉用牛	52	83	31	59.6
洋ラン類（鉢）	28	41	13	46.4
アスパラガス	6	18	12	200.0

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
米	471	328	▲143	▲30.4
小麦	68	26	▲42	▲61.8
庭園樹苗木	83	44	▲39	▲47.0
生乳	114	78	▲36	▲31.6
きく	64	39	▲25	▲39.1

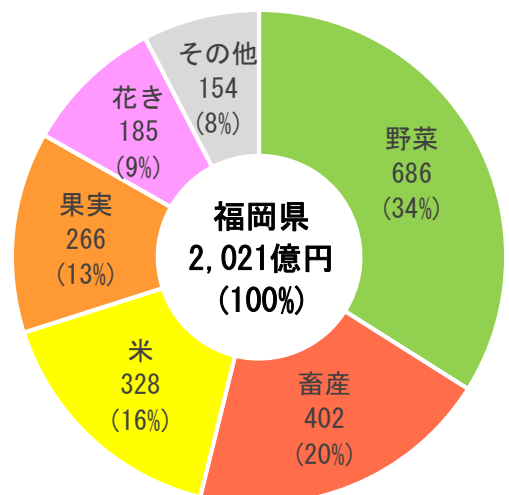
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（福岡県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注：割合は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります（以下同じ。）。

佐賀県

【近年は肉用牛、みかんが増加】

佐賀県は九州でも有数の穀倉地帯であり、米、麦、大豆などの土地利用型農業が展開されているほか、肉用牛やみかんの生産が盛んです。

20年前と比較すると、肉用牛やみかんなどが増加している一方、二条大麦や大豆などは減少しています。

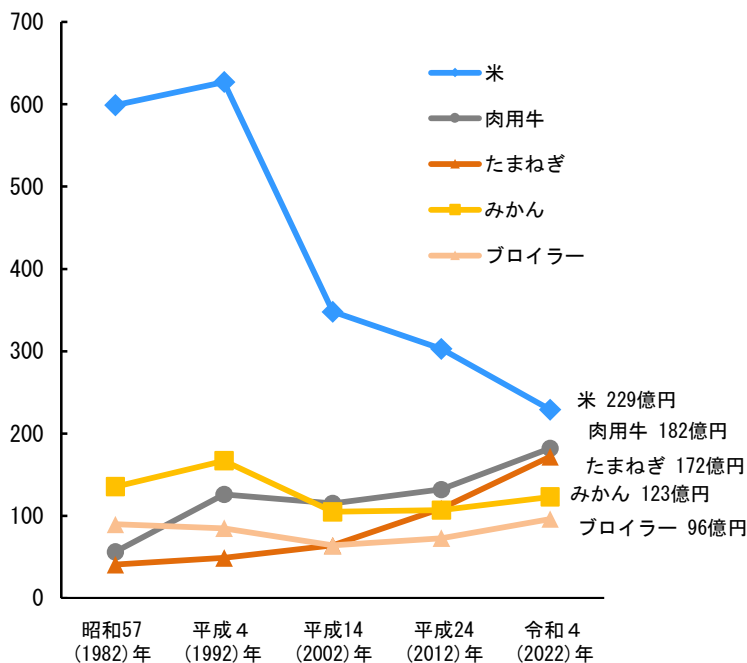
また、部門別にみると、畜産及び野菜がそれぞれ約3割を占めており、農業産出額の全国順位ではアスパラガスなどが上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は1,307億円で、前年に比べ8.4%増加しました。これは主にブロイラーの出荷羽数の増加に加え、いちご、たまねぎ及びブロイラーの価格が上昇したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

たまねぎ（2位） 二条大麦（2位） 小麦（3位） アスパラガス（3位） れんこん（3位）

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移
（億円）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目
増加した品目

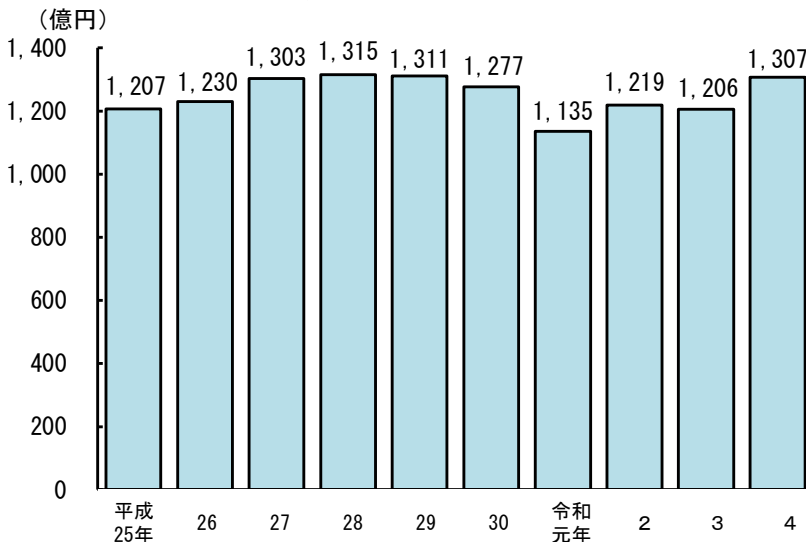
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
たまねぎ	64	172	108	168.8
肉用牛	115	182	67	58.3
ブロイラー	64	96	32	50.0
みかん	105	123	18	17.1
れんこん	9	21	12	133.3

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
米	348	229	▲119	▲34.2
大豆	44	14	▲30	▲68.2
二条大麦	38	11	▲27	▲71.1
いちご	113	89	▲24	▲21.2
小麦	38	16	▲22	▲57.9

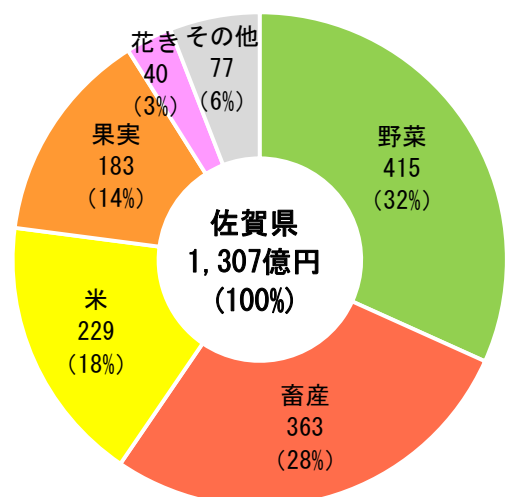
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（佐賀県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

長崎県

【近年は肉用牛、ばれいしょが増加】

長崎県は地域の特徴を活かした畜産や野菜、果樹などを中心とした農業が展開されており、特に肉用牛やばれいしょの生産が盛んです。

20年前と比較すると、肉用牛やばれいしょが増加している一方、びわや葉たばこなどは減少しています。

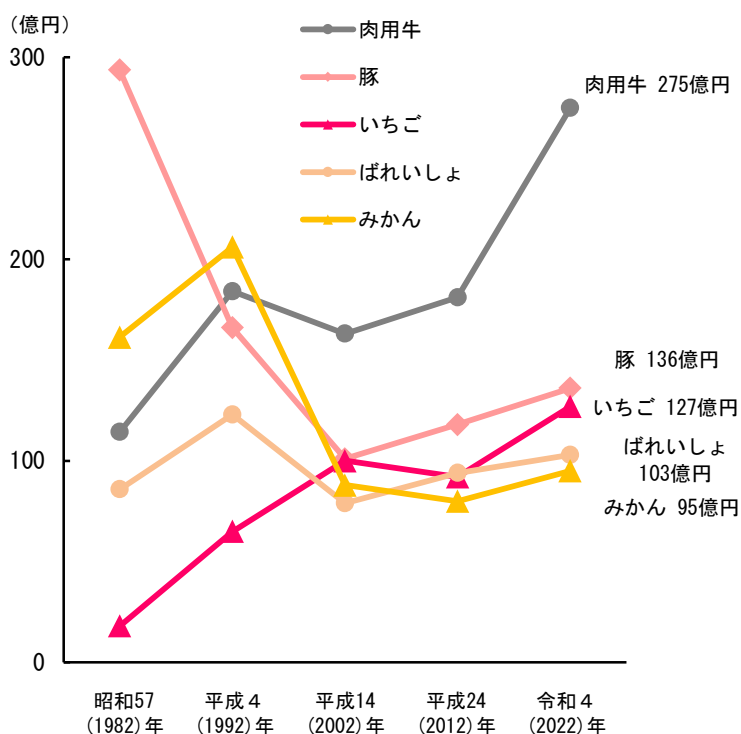
また、部門別にみると、畜産が約4割、野菜が約3割を占めており、農業産出額の全国順位ではびわなどが上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は1,504億円で、前年に比べ3.0%減少しました。これは主にみかんの生産量が減少したことに加え、ばれいしょの価格が低下したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

びわ（1位） ばれいしょ（3位） いちご（4位） たまねぎ（4位） ガーベラ（4位）

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目
増加した品目

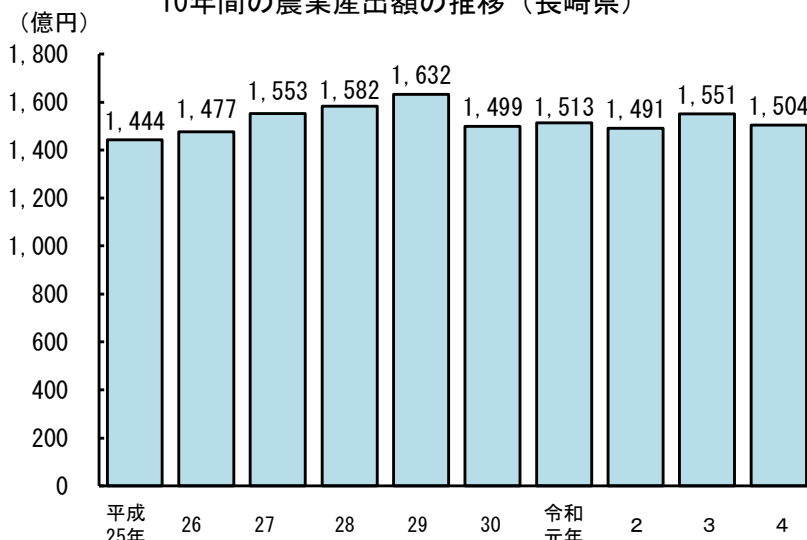
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
肉用牛	163	275	112	68.7
ブロイラー	24	75	51	212.5
たまねぎ	10	50	40	400.0
豚	101	136	35	34.7
いちご	100	127	27	27.0

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
米	161	90	▲ 71	▲ 44.1
葉たばこ	54	24	▲ 30	▲ 55.6
びわ	27	12	▲ 15	▲ 55.6
だいこん	27	15	▲ 12	▲ 44.4
生乳	57	46	▲ 11	▲ 19.3

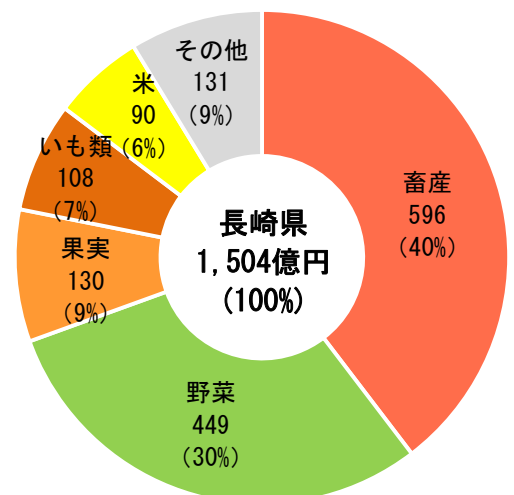
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（長崎県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

熊本県

【近年は肉用牛、トマトが増加】

熊本県は高冷地から平坦地まで多様な地形や気候を活かした畜産や野菜、果樹などを中心とした農業が展開されており、特に肉用牛やトマトの生産が盛んです。

20年前と比較すると、肉用牛やトマトなどが増加している一方、“い”や葉たばこなどは減少しています。

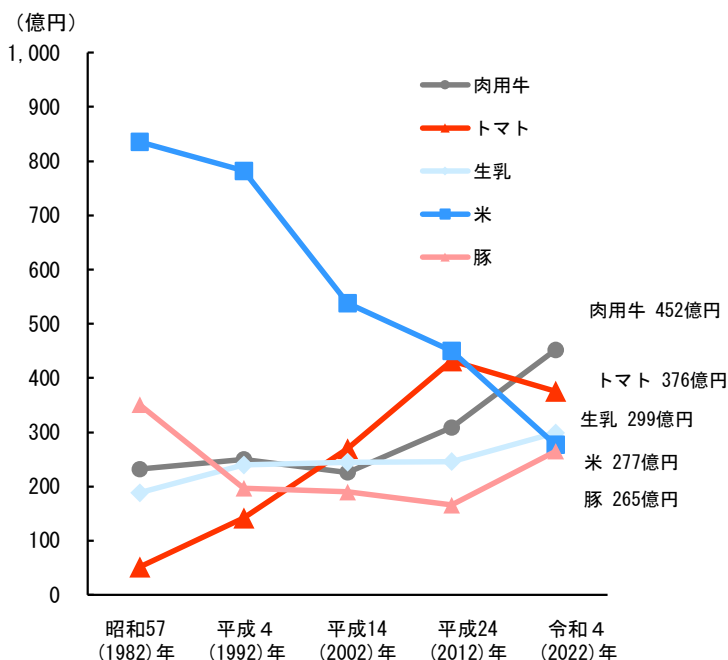
また、部門別にみると、畜産及び野菜がそれぞれ3割以上を占めており、農業産出額の全国順位ではトマトやすいかなど多数の品目で上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は3,512億円で、前年に比べ1.0%増加しました。これは主にメロン、トマト、いちご及びたまねぎの価格が上昇したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

トマト（1位） すいか（1位） 葉たばこ（1位） しらぬい（デコポン）（1位） 馬（1位）

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目 増加した品目

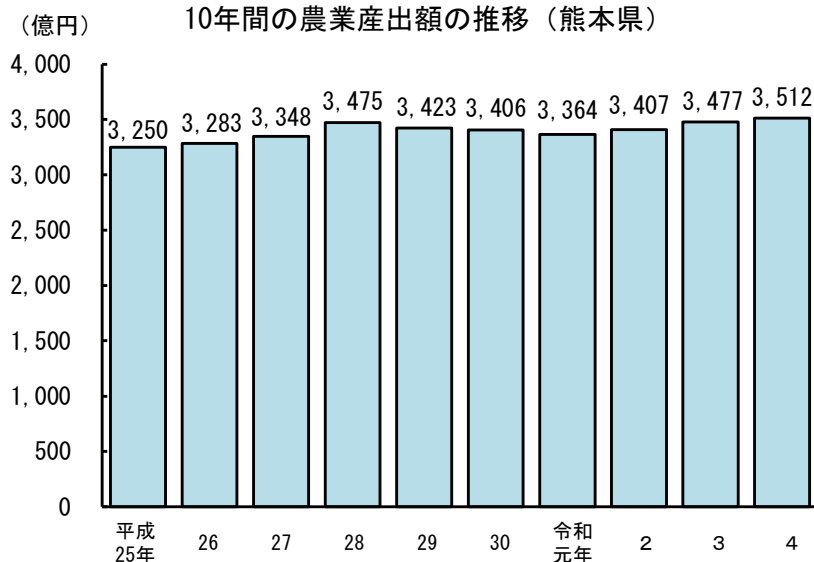
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
肉用牛	226	452	226	100.0
トマト	270	376	106	39.3
豚	190	265	75	39.5
ブロイラー	41	114	73	178.0
生乳	245	299	54	22.0

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
米	538	277	▲261	▲48.5
葉たばこ	117	43	▲74	▲63.2
畳表	53	15	▲38	▲71.7
い	54	18	▲36	▲66.7
メロン	152	117	▲35	▲23.0

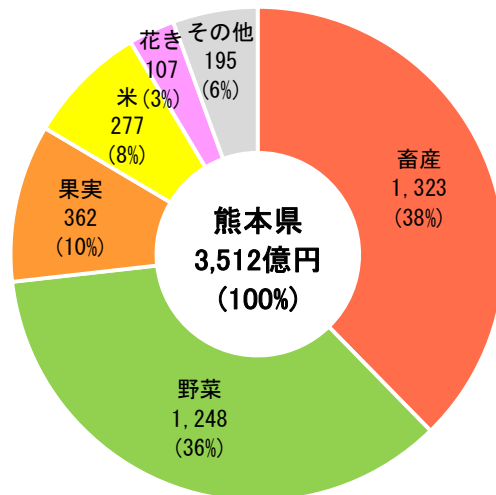
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（熊本県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

大分県

【近年は豚、ねぎが増加】

大分県は畜産、野菜、米を中心とした農業が展開されており、特に豚やねぎの生産が盛んです。

20年前と比較すると、豚や肉用牛などが増加している一方、葉たばこやみかんなどは減少しています。

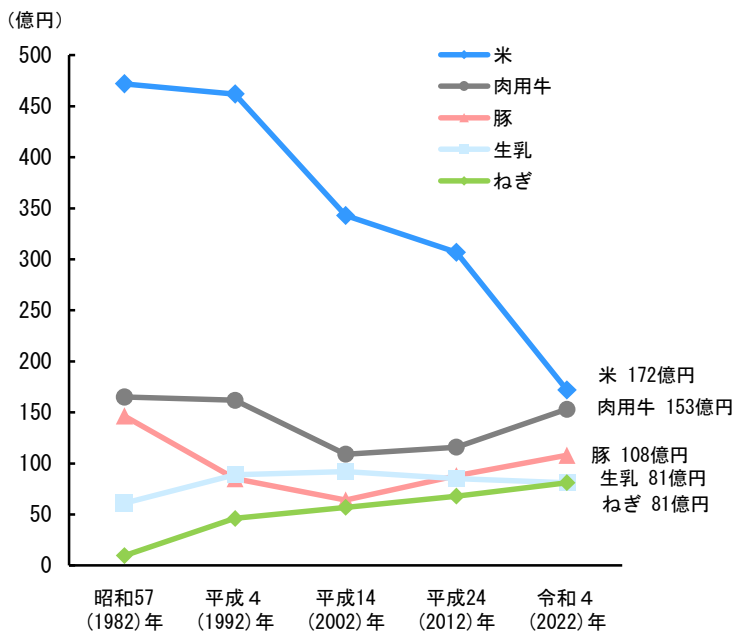
また、部門別にみると、畜産が約4割、野菜が約3割を占めており、農業産出額の全国順位ではカボスやぎんなんなどが上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は1,245億円で、前年に比べ1.4%増加しました。これは主にねぎの生産量が増加したことに加え、ぶどう、カボス及び肥育牛の価格が上昇したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

カボス(1位) ぎんなん(1位) しそ(2位) ゆず(3位) ねぎ(4位)

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目

増加した品目

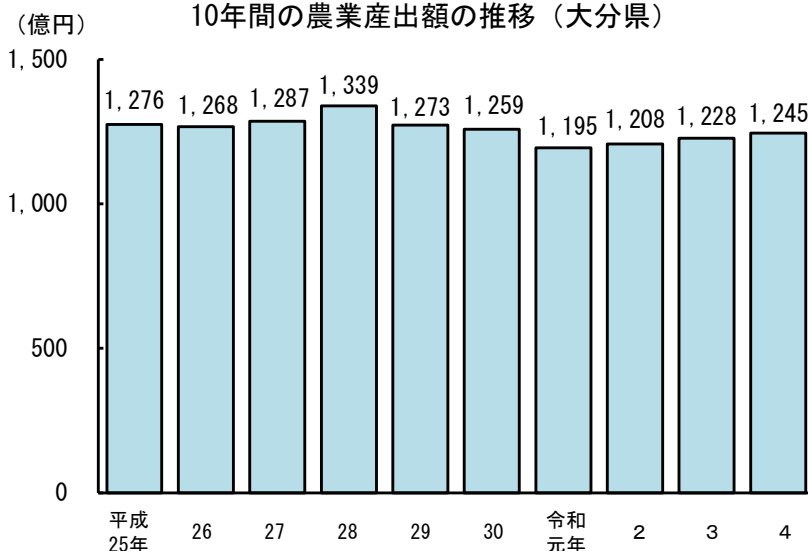
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
肉用牛	109	153	44	40.4
豚	64	108	44	68.8
ねぎ	57	81	24	42.1
カボス	10	31	21	210.0
ぶどう	17	33	16	94.1

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
米	343	172	▲171	▲49.9
みかん	77	27	▲50	▲64.9
葉たばこ	46	5	▲41	▲89.1
生乳	92	81	▲11	▲12.0
きゅうり	16	6	▲10	▲62.5

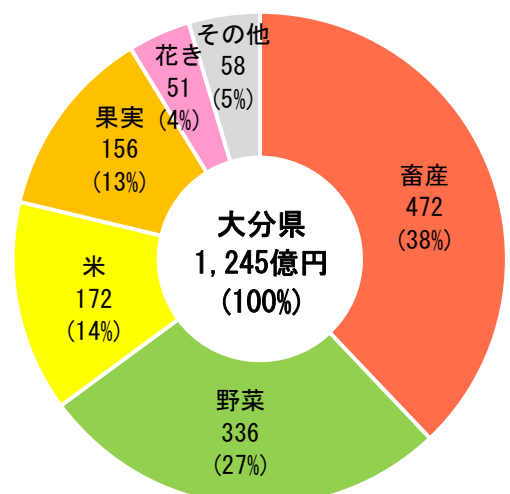
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（大分県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

宮崎県

【近年は肉用牛、ブロイラーが増加】

宮崎県は全国有数の畜産地帯であり、肉用牛やブロイラー、豚の生産が盛んです。20年前と比較すると、肉用牛やブロイラーなどが増加している一方、葉たばこやみかんなどは減少しています。

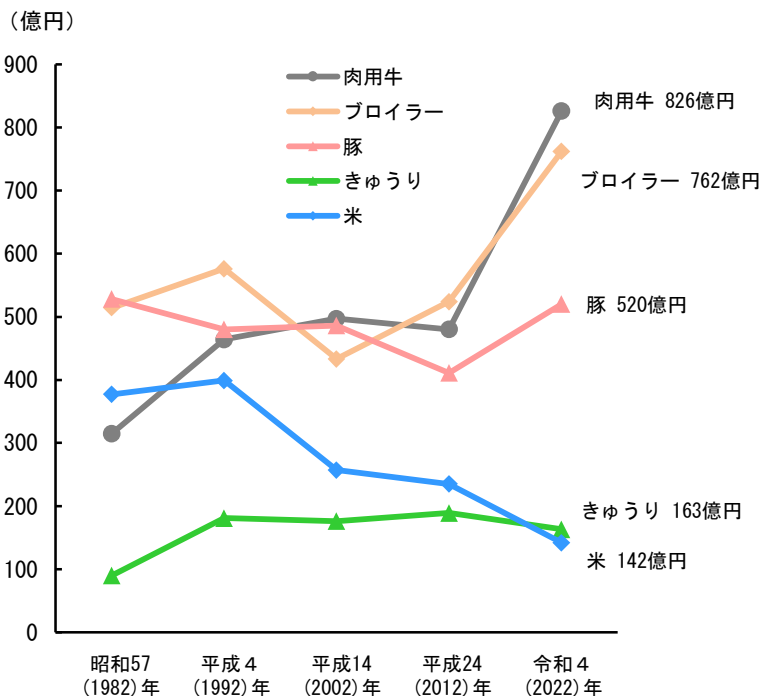
また、部門別にみると、畜産が約7割を占めており、農業産出額の全国順位ではきゅうりやブロイラーなどが上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は3,505億円で、前年に比べ0.8%増加しました。これは主に肥育牛の出荷頭数が増加したことに加え、ブロイラー、きんかん及びマンゴーの価格が上昇したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

きゅうり（1位） マンゴー（1位） ブロイラー（2位） ピーマン（2位） 豚（3位）

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目
増加した品目

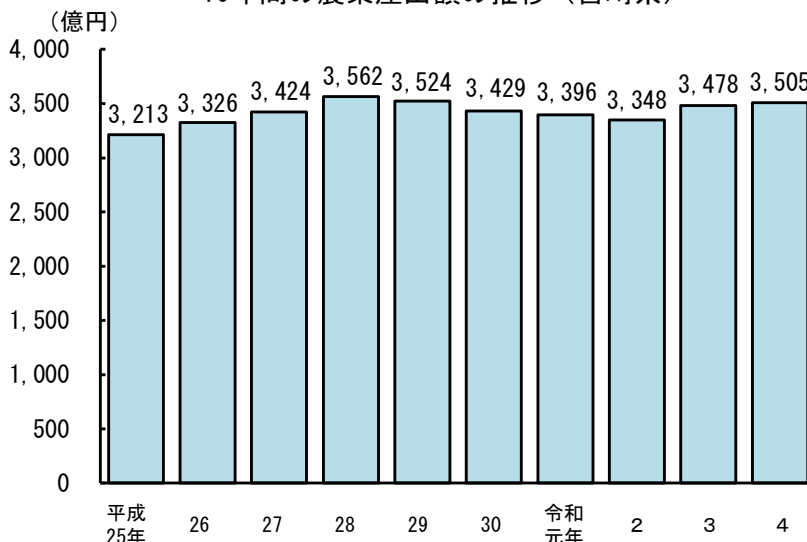
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
ブロイラー	433	762	329	76.0
肉用牛	497	826	329	66.2
マンゴー	9	50	41	455.6
豚	486	520	34	7.0
鶏卵	82	113	31	37.8

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
葉たばこ	134	14	▲120	▲89.6
米	257	142	▲115	▲44.7
メロン	42	8	▲34	▲81.0
みかん	44	16	▲28	▲63.6
生乳	100	82	▲18	▲18.0

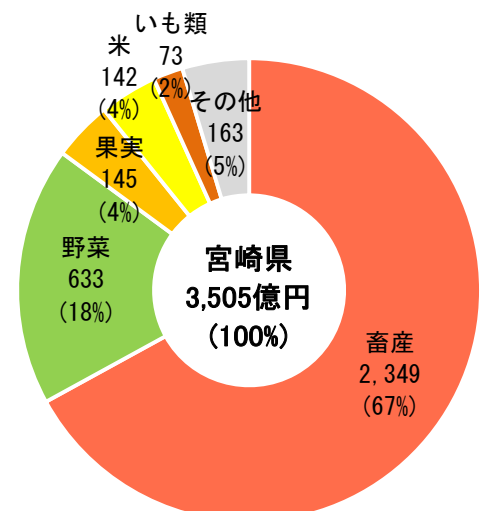
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（宮崎県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

鹿児島県

【近年は肉用牛、豚が増加】

鹿児島県は全国有数の畜産地帯であり、肉用牛や豚、ブロイラーの生産が盛んで、農業産出額の畜産部門は全国の1割を占めています。

20年前と比較すると、肉用牛やブロイラーなどが増加している一方、葉たばこや観葉植物などは減少しています。

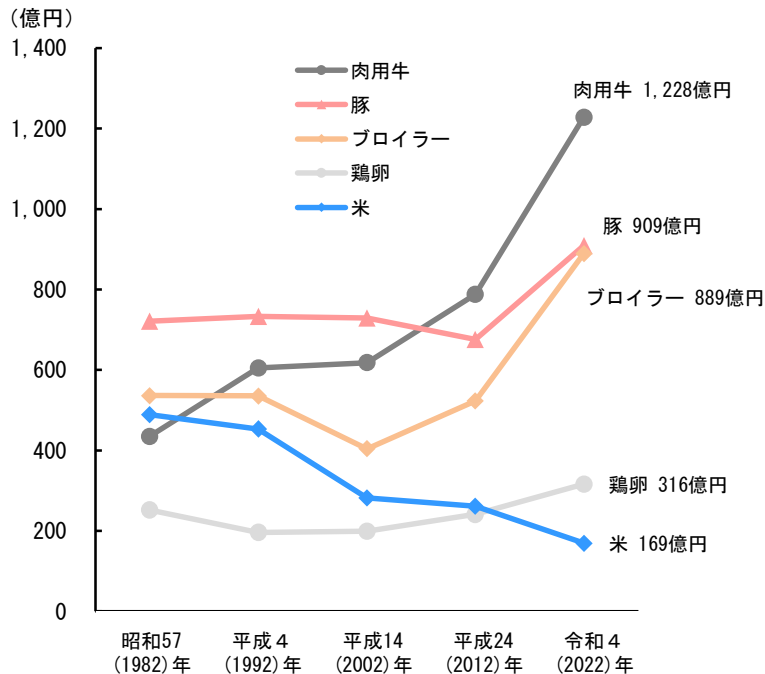
また、部門別にみると、畜産が約7割を占めており、農業産出額の全国順位では畜産以外にも、さやえんどうなどが上位を占めています。

令和4（2022）年の農業産出額は5,114億円で、前年に比べ2.3%増加しました。これは主にブロイラーの出荷羽数が増加したことに加え、加工用かんしょ、豚及びブロイラーの価格が上昇したためです。

全国の上位品目（農業産出額）

肉用牛（1位） 豚（1位） ブロイラー（1位） さやえんどう（1位） たけのこ（1位）

令和4（2022）年農業産出額 上位5品目の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

20年前（平成14年）と比較して増減額が大きい品目
増加した品目

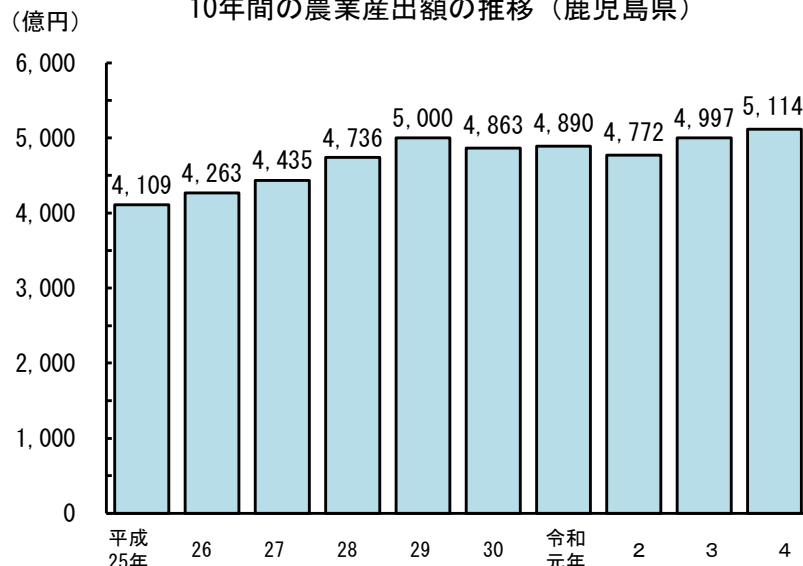
品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	増加額 億円	増加率 %
肉用牛	618	1,228	610	98.7
ブロイラー	404	889	485	120.0
豚	729	909	180	24.7
鶏卵	199	316	117	58.8
ばれいしょ	85	141	56	65.9

減少した品目

品目名	平成14年 億円	令和4年 億円	減少額 億円	減少率 %
米	282	169	▲113	▲40.1
葉たばこ	111	11	▲100	▲90.1
茶（生葉）	180	154	▲26	▲14.4
観葉植物	32	12	▲20	▲62.5
かぼちゃ	26	14	▲12	▲46.2

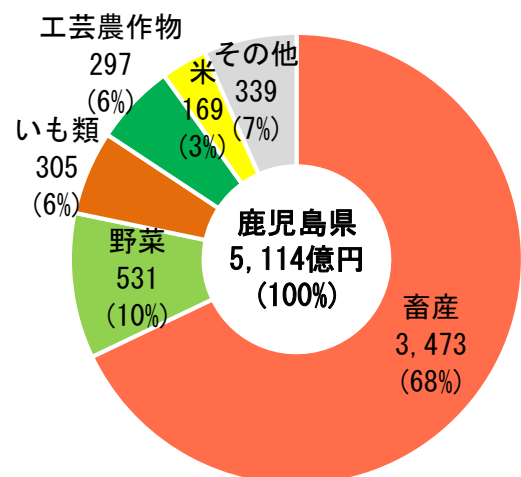
資料：農林水産省「生産農業所得統計」

10年間の農業産出額の推移（鹿児島県）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別農業産出額 令和4（2022）年



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

